

# 白土地獄

## は何を生みだすか

### 案問題と 考る 1.27 討論集会へ

教養生の諸君！1984年もすでに1ヶ月がたとうとしている。この1984年はジャーナリズムがにぎやかに宣伝していくように、ジョージ・オーウェルの小説「1984年」の中で徹底した管理社会として描かれている。文部省・京大当局・京都地裁もこののはか管理が好きだ。ひたすら学生の自治を奪って、現体制に無批判に従事しようとしている。

神野学生部長は焼っさんの配車問題を單なる負担区分攻撃をしかけてきたばかりでなく、4案自治会がやけくそ悪く譲歩して負担区分攻撃に入るやいはや、新たに攻撃をしかけてきた。2月付で出した『案問題についてくる文書』の中で高齢車台一度ご入退寮権を奪うことを宣言したのだ。冗談届とださない。性は元居者、ヒテ強制的措置とるとと本腰は言つてゐる。強制的措置とは何だ！言ってどう！冗談届を出さないまま『退寮区分』に手を貸さざれとも限らず、機動隊と連れておいで何長か？

1.18に京都地裁は河井長浜田は京大当局・検察の言い分を一方的に認め公辯の上に不正にも有罪判決を下した。その判決理由の中で彼は国家資本によって利益をうけている者は國家の政策に従うのが当然といった全く許しがたい論理を展開したのだ。笑正ろや！国民はまだ税金をしづりとられて国家に騙されられていいればいいとも言うのか！我々は決して警察・司法権力と一緒に

なった当局の強制的自治権を許さないぞ！

#### 〈反專開始　— 我らが自治を対置する —〉

学生部は案自治に対して攻撃を強め、一方で吉田新プランを周到に準備している。欲望の中を準備されているプラン。学生と分析し、案自治をなしくすじにそろべく工夫がされてるものと思われる。これに対して我々は案自治・自管理の内容を確立し、更に深めていくことを通じて我々の新案プランを成し、掲げなければならない。これまで我々は自管理のみで、当局の攻撃への反撃としてしか対応をとらなかったのではないか。しかし敵の攻撃の後手に回ったまゝでは勝利の展望はない。そのためには自管理の内実豊かで積極的に訴えてくべきが心源である。新案プラン作成は好機である。この機会をのがす大規模な攻撃をしかけるのだ。

#### 〈討論集会へ集まろう！〉

このような状況の中で我々は“自らは何を生みだすのか”討論集会を提起する。全ての寮生・寮生のみなさん！我々一揆連と共に大いに語り響かして学生の自主管理の本を鮮明にしていくではないか。案問題に关心をもつ全乙の学生が集まられるよう計える！

# 口・一揆連